

こやばかつどうそしき
小屋場活動組織（茅野市）

・組織の活動面積	A=	54	ha
・組織の構成員数	約	50	人

組織形態	農地維持 <input type="checkbox"/>	資源向上(共同) <input type="checkbox"/>	資源向上 (長寿命化) <input checked="" type="checkbox"/>
取組開始年度	—	—	平成23年～

構成員	農家、行政区民など
-----	-----------

組織の概要

当組織は二十数年前に行ったほ場整備事業により生まれ変わった、主に水田を中心にした農地が経年劣化により作業がやりにくくなった箇所の補修改良を主に実施しています。水路について当時設置したU字溝は幅が狭かったために破損が著しく改修が必要になりました。また当地は地形的に湧水処理の為に暗渠排水処理が必要で、これも今後継続して行う必要があり、重点的に実施しています。

必要なところから優先的に行う

30cm幅のU字溝は経年により破損が早い。せめて40cm幅のものは使いたい。



暗渠排水は農作業効率の決め手です。不具合箇所から継続的に行う必要があります。

圃場整備により大きくなった水田の草刈り作業は大変です。特に最近出回っている法面草刈り機では危険も伴います。このために畦畔に小段をつけて安全を確保します。

